

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	卵巣癌肝転移における直腸間膜リンパ節転移を経由した新たな転移経路の解明
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2004年1月以降、当院で卵巣癌による直腸浸潤に対して手術を受けた患者さん
③ 概要	<p>卵巣癌は肝臓へ転移することが知られていますが、その転移に至る経路は明らかではありません。卵巣癌は時に直腸へ浸潤することがあり、中には腸間膜リンパ節へ癌細胞が転移していることがあります。私たちは直腸へ浸潤した癌細胞が腸間膜リンパ節を介して肝臓へ辿り着く経路があるのではないかと考えています。</p> <p>本研究では、卵巣癌による腸間膜リンパ節転移がどのような人に起こりやすいのか、どのような臓器に再発しやすいのか（特に肝転移）、を明らかにすることを目的としています。</p>
④ 申請番号	G2019-0011
⑤ 研究の目的・意義	卵巣癌による直腸浸潤をきたした患者さんにおける、腸間膜リンパ節転移の有無と再発形式の特徴（特に肝転移）を明らかにするため、対象となる患者さんの診療情報を調査します。卵巣癌肝転移の転移形成機序を明らかにすることで、将来的には転移形式機序の違いによる有効な治療法を確立すること、を目的としています。
⑥ 研究期間	遺伝子倫理審査委員会承認日から2029年3月31日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、画像データ、病理組織診断結果などを利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	臨床情報（年齢、性別、体重、血液検査結果、治療歴、画像データ、合併症、病理組織診断結果、予後等）
⑨ 利用の範囲	新潟大学大学院消化器・一般外科学分野
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	<p>研究責任者：</p> <p>〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757</p> <p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野</p> <p>中野雅人</p> <p>TEL 025-227-2228 FAX 025-227-0779</p>
⑪ お問い合わせ先	<p>〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757</p> <p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野</p>

中野雅人

TEL 025-227-2228 FAX 025-227-0779